



2013年 新しい年を迎えて

宇都宮シルバーホーム施設長 小野 輝夫

日本は地方も都市でも年々高齢者が増加する時代を迎えており、介護福祉施設の役割は質・量共に重要性を増しています。今後は介護福祉施設にも競争原理が厳しく働くと思われ、宇都宮シルバーホームとしても生き残りを賭けて、心してこれまでの経験に加え新しい理念に立った老人介護に携わる必要に迫れる一年になりそうです。

そのような中ではありますがこの度施設長を退くことに致しました。本当に急なお知らせとなり、ご利用者・ご家族の皆様には大変申し訳なく思っております。これまでの皆様のご協力・ご支援に感謝いたします。本当にお世話になりました。今後は新しい施設長のもと職員も心をひとつにしてこのシルバーホームをもり立てて参りますので、どうぞ引き続きのご支援を頂きますようよろしくお願いいたします。



よつ葉クラブ



12月5日(水)通所リハビリテーションにて「脳卒中友の会 よつ葉クラブ」の皆さんによる紙芝居・マジック・腹話術が行われました。

紙芝居は言語障害があるとは思えないほどで、マジックでは皆おどろき拍手喝采でした。腹話術はとてもおもしろく、人形のゴロウちゃんとの会話では「かわいい」という声が女性の方から聞こえ、笑いが絶えませんでした。

よつ葉クラブの皆さんは障害をお持ちですが、身障者=心笑者(しんしょうしゃ)として活動し、見て下さった方を心笑者にしようとしているそうです。

笑う事は心に良い事です。よつ葉クラブの皆さんに来て頂いて、ご利用者や職員はたくさん笑うことができました。

職員十色

8月からシルバーホーム2Fで勤務しています小池泉美です。入職間もない頃は、施設の中で「西へ行きます」と言いながら東へ、なんてことも度々ありましたが、最近は無くなりちよつと安心しています。

西と東を間違える私は車を運転していても方向音痴で、遠出をするとなぜか行きと帰りの道が違い、自分でもよく帰ってこれたなど感心します。カーナビは付いていますが、車線変更が苦手なので指示に従えず、ナビはカーブの有無を確認するためだけに活用しています。

仕事の面でもまだまだ皆さんにご迷惑おかけしますが、先輩職員の方々に指導して頂きながら、少しずつですが成長していけるよう頑張りますので、宜しくお願いします。



ケアワーカー
こいけ いすみ
小池 泉美



餅つき大会

12月26日(水)宇都宮シルバーホームにてもちつきを行いました。毎年恒例の行事でご利用者も楽しみで、7時間前から準備をしている方もいました。もちをつき始めると、元気よく「よいしょ！ぞらよいしょ!!」とかけ声があがりました。昔からよくやっていたご利用者から、「こうやるんだ！これじゃまだダメだ！」と職員が教えてもらいながらなんとかお供え用の鏡餅が完成しました。



ご意見・ご感想・リクエストなど 〒321-0901 宇都宮市平出町413
ございましたらこちらまで!! 宇都宮シルバーホーム「広報委員会」宛

寄り添いボランティア

ご利用者とお話などをして頂く寄り添いボランティアの方が来所されています。12月には手作りのポストカードを頂きました。



～ボランティアの方より～
私たちはシルバー大学を卒業したばかりの有志数十名です。利用者さんとお話したり、頑張っている姿をみて元気を頂きました。これからもボランティア活動の基本である、『できる人ができる時にできる事を』を行っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

結城一路の独り言

絵手紙に 笑顔ほころび みせ合いし
付き添いボラの 心かよいて

シルバー大学絵手紙クラブOBの皆さん
寄り添いボランティアとして活動中です。
クリスマスのプレゼント 絵手紙を一人ひとりに…
お互いに 心が通い合ったかもしれません。